

循環器専門医研修ネットワークプログラム

1 はじめに

プログラムリーダー 富士市立中央病院 診療参事兼循環器内科部長 三川秀文

このプログラムを閲覧していただき有り難うございます。この研修プログラムは静岡県東部地区の地域医療および救急医療を支える循環器科病院群によって運営されています。この地域は東京から新幹線で1時間、霊峰富士を仰ぎ見る所に位置していて、複数の一部上場企業の生産拠点等がある一方、東海道の宿場町として栄えた商店街もあります。一部の地域では高齢化が進んでいるものの、症例は豊富ですべての年齢層の各種疾患を経験することができます。循環器科として救急医療を支える使命も担っており、多くの診療業務を学ばねばなりません。我々は医師や病院同士の連携、協働を活発に行い、その中で良質な研修医を育てることを共通の目的としています。このプログラムを見て我々とともに地域医療を支える仲間になってくれることを期待します。もちろん研修修了後は、本プログラムに参加している病院のスタッフとしての採用やその他希望があれば可能な限り支援させていただきます。

まずは行動することが大切です。私に連絡をとって話を聞きに来てください。

2 特徴

日本循環器学会の研修プログラムに沿って研修しながら、地域医療を支える循環器医師集団の一員として活躍してもらいます。もちろん、指導医と専門医によるバックアップ体制を整えてあり、安心、安全な研修環境を確保します。

東部地区の循環器科は“病院”という垣根を越えた連携を目指しています。そしてスタッフの出身大学は様々であるため、それぞれの考え方を学ぶことができます。また、大学院に進みたいという医師にも最大限の支援をします。病院群のスタッフ医師になり勤務することも可能です。

3 目的

- 1) 循環器科の優秀な専門医の育成
- 2) 地域に根ざした医療を理解できる医師の育成
- 3) リーダー的な役割を担える医師の育成

4 目標

認定内科医又は総合内科専門医、又は外科学会認定医又は外科専門医、又は消化学会認定医又は小児科専門医を取得し、引き続き循環器専門医を目指す。

- 1) 循環器専門医を取得する。
- 2) 「循環器専門医研修カリキュラム」を充足する研修を行う。
 - ① 研修カリキュラムの下記10疾患の検査や治療の「施行又は判断」ができる。
心不全 不整脈 血圧異常 虚血性心疾患 弁膜疾患 心筋疾患

感染性心内膜炎 肺性心疾患 先天性心血管疾患 大動脈疾患

- ② 心超音波検査、核医学検査（心筋シンチ）、心臓MDCT検査を担当する。
 - ③ 心臓カテーテル検査の助手と術者（200例以上）を担当する。
 - ④ 冠動脈インターベンションの助手と術者（心カテ経験による）を担当する。
 - ⑤ IABP挿入、一時的ペースメーカー植え込み、心嚢穿刺を習得する。
 - ⑥ 学会発表を年1題以上行う（症例報告含む）
- 3) 「AHABLSヘルスケアプロバイダーコース」「AHAACLSプロバイダーコース」を受講する。
 - 4) 症例カンファレンス、病棟カンファレンスでのプレゼンテーションや進行役を務め、積極的にディスカッションに参加する。
 - 5) ふじさん登頂、又は伊豆半島一周サイクリングのいずれかを達成することが望ましい！！（ただし、年休を使用し、費用は自己負担）

5 研修カリキュラム

日本循環器学会の『循環器専門医研修カリキュラム』に準じます。

参照)『循環器専門医研修カリキュラム 達成度評価表』

※日本循環器学会 <http://www.j-circ.or.jp/index.htm>

6 研修例

研修医の希望を勘案しながら、『循環器専門医研修カリキュラム』で求められている研修内容を充足できるよう、研修病院を組み合わせます。

【例】

※内科認定医の申請に不足する症例は3年目で補うよう個別に配慮します。

1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	静岡医療センター											

2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	富士宮市立病院（5～8月富士登山トライ）											

3年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	富士市立中央病院											

4年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	岡村記念病院					国際医療福祉大学						

研修歴のカウント

12ヶ月/静岡医療C + 12ヶ月/岡村記念病院 + 12ヶ月/富士市立中央病院
+ 4ヶ月/岡村記念病院 + 8ヶ月/国際医療福祉大学 + 0ヶ月 × 1/2^(*) × /関連施設
= 計 48.0ヶ月 ※関連施設の研修期間は1/2倍(学会規定)

7 研修病院群

国際医療福祉大学熱海病院 2名

専門医：重政朝彦（1989年横浜市立大学医学部）、重永豊一郎（2001年横浜市立大学医学部）

特徴：当院は平成14年7月に国立熱海病院から国際医療福祉大学に継承されました。最新鋭の医療機器が完備され、療養環境の充実とリハビリテーション部門の強化で、超高齢化社会に対応できるようになっております。伊豆箱根地方という日本一の観光地をバックに有していて、風光明媚で待合室も海に面し（JR熱海駅から徒歩約8分）、大変良好な雰囲気の中にあります。静岡県東部地区の中核病院のひとつとして発展してきた当院は日本循環器学会研修施設だけでなく、日本内科学会教育病院、日本脈管学会認定研修関連施設、日本超音波医学会研修施設、日本老年医学会認定施設、日本高血圧学会認定施設、心大血管疾患リハビリテーション認定施設（施設基準I）等、数多くの専門医認定施設としても認められております。

静岡県立静岡がんセンター

特徴：このプログラムに興味をもっていただいた皆様こんにちは。静岡県立静岡がんセンターの循環器内科です。当院は、平成14年9月に富士山と駿河湾を望む丘陵地に開院したがん診療連携拠点病院です。全床開棟時615床、38診療科を有する当センターでは、「患者さんの視点の重視」を基本理念とし、①「がんを上手に治す」、②「患者さんと家族を徹底支援する」、③「成長と進化を継続する」の3つを患者さんとそのご家族への約束として大切にし、最善な医療の提供に取り組んでいます。がん診療専門施設で循環器医が何をしているのだろうと疑問に思われる方も多いと思いますが、循環器疾患の治療と同様にがん治療も日進月歩であり、当院のスタッフは日々がん撲滅のために戦っております。しかし時として併存する疾患のためにがんの診療が思うように進まないことがあります。われわれは循環器疾患をはじめとして、がん診療に支障をきたす併存症を治療することにより少しでもそういった患者さんを減らせるように努力しています。具体的には、心疾患などの合併症を有する患者さんの手術前評価や手術後管理、抗がん剤による心障害の評価と治療、動静脈血栓症の管理、治療中に虚血性心疾患を発症した場合には冠動脈カテーテルインターベンションや必要に応じてペースメーカー治療も行っております。ご興味を持っていただけたらいつでもご連絡ください。

静岡医療センター 専門医：3名

特徴：当科は7名のスタッフで診療に当たっており、特に循環器救急、不整脈および末梢動脈疾患の3領域に力を入れております。循環器救急は24時間365日、原則すべての救急搬送依頼を受け入れており、年間救急搬送件数は700件以上です。不整脈については心臓電気生理学的検査、カテーテルアブレーション、ICD/CRTのデバイス治療を積極的に行っております。末梢動脈疾患については総合病院の強みを生かし、心臓血管外科、整形外科、皮膚科等との連携によりフットケアチームを結成し、積極的に取り組んでいます。下肢閉塞性動脈硬化症に対するカテーテルインターベンションは静岡県内で最も多く、東海地方でも有数の実績です。

岡村記念病院 専門医 9 名

専門医 樽谷康弘 (1996 年 滋賀医科大学) 保坂文駿 (1998 年 福島県立医科大学)
東 祐圭 (1980 年 金沢医科大学) 進士和也 (2003 年 名古屋大学医学部)

吉野知秀 (2003 年 滋賀医科大学) 寺村真範 (2004 年 滋賀医科大学)
今井雄太 (2005 年 滋賀医科大学) 角野元彦 (2005 年 滋賀医科大学)
坂本泰三 (1979 年 岐阜大学医学部)

特徴：1983 年に開院した循環器疾患専門病院です。冠動脈や末梢血管のインターベンションや不整脈アブレーションなどのカテーテル治療を中心に診療を行っております。治療に当たっては心臓外科と協働して、毎日、症例検討会を開き治療方針を決めております。この地域で約 30 年治療実績があり、心不全や弁膜症、高血圧症やその関連疾患、心筋症などの患者も多く、短期間で沢山の症例を経験することが出来ます。救急医療においても同フロアでカテーテル室（2 室）、オペ室、ICU（10 床）を設置しており、24 時間体制で対応しています。心筋梗塞や急性心不全、大動脈解離などの大動脈疾患の症例も多く受け入れ加療しております。1 年間で 100 名を超える急性心筋梗塞の緊急治療を行っております。詳しくは当院の HP をご覧ください。

沼津市立病院 専門医： 2 名

特徴：当院は病床数 500 床の総合病院であり、循環器内科は大学派遣医師で運営しております。また救命救急センターを擁しているため、循環器輪番以外に、救命救急センター専従当直・内科二次待機当直も行っており、循環器疾患以外の患者様の診療に携わる必要があります。循環器疾患に捉われない多くの症例を経験したい先生方にお勧めします。

富士市立中央病院 専門医 3 名

専門医 阪本宏志 (1993 年 金沢医科大学) 山崎弘二 (1998 年 東京慈恵会医科大学)
阿部裕一 (2001 年 東京慈恵会医科大学)

特徴：富士市の中核をなす病床数 540 床の総合病院であり、地域医療に不可欠な救急医療にも携わっています。365 日循環器科当直医を配し、24 時間体制で救急医療に対応して、急性心筋梗塞、狭心症、心不全、動脈解離等の急性期疾患を含め多くの循環器疾患を経験できます。緊急心臓カテーテル（e m g C A G）も担当してもらっています。（年間心臓カテーテル検査 965 件、P C 1430 件、e m g C A G 168 件の検査、治療を行っています。）

2012 年 256slice M D C T を導入し、心電図、心臓超音波、負荷心筋シンチなど各種検査を習得し診断、治療計画を立てます。全科を有するため各診療科をまたがる合併症のある複雑な循環器疾患も経験できます。また、心臓血管外科との連携は密であり、外科的手技や術後管理も経験できるため、循環器内科だけの考えにとらわれず、心臓外科を通じてグローバルな視点から循環器疾患を学んでいただけます。

富士宮市立病院 専門医 4 名

専門医 若原伸行(1994年浜松医科大学) 勝呂清尚(1994年福井医科大学)
川口由高(1997年浜松医科大学) 高嶋泰世(2007年高知大学医学部)

特徴：病院は JR 富士宮駅のすぐ南側にあり、東名富士 IC から車で 15 分、東海道新幹線新富士駅からは車で 25 分程度の場所にあります。病院の北側に眺望できる雄大な富士山に見守られながら 5 名のスタッフで診療を行っております。24 時間体制で急性心筋梗塞や心不全などの救急疾患にも対応しております。画像診断(心エコー、心筋シンチ、心臓 CT、心臓 MRI など)や心臓カテーテル検査・治療を十分に駆使し、バランスの取れた最適な診療を行うことを目標としています。また、他科やコメディカルとの連携も良好であり、複数の科が関連するような疾患も経験することができます。日本循環器学会研修施設、日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設です。

有隣厚生会富士病院 専門医 4 名

専門医 湯本佳宏(1997年北里大学医学部) 王子田裕之(1993年鹿児島大学医学部)
今木隆太(1999年北里大学医学部) 本田雄気(2003年昭和大学医学部)

特徴：当院は、病床数 160 床の公益法人が運営する一般病院であり、御殿場市、小山町、裾野市および箱根町の一部を医療圏とする地域医療に携わっています。特に当科は 24 時間体制でこの地域の心臓救急に対応し、狭心症や急性心筋梗塞などの虚血性心疾患、心不全、不整脈などの循環器疾患を含め、非常に多くの症例を経験することができます。PCI だけでなく、近年 PAD に対する PPI や PAF に対するカテーテルアブレーションの症例が激増しております。詳しくは当院ホームページをご覧ください。

順天堂大学医学部附属静岡病院

8 病院群の実績（平成 26 年 1 月～12 月）

		国際医療福祉大学熱海病院	県立静岡がんセンター※	静岡医療センター	岡村記念病院	沼津市立病院※	富士市立中央病院※	富士宮市立病院	有隣厚生会 富士病院※	順天堂大学医学部附属静岡病院
疾患 (入院症例のみ)	不整脈	31	-	311	175	120	43	35	77	-
	血圧異常	7	-	262	7	30	2	9	-	-
	虚血性心疾患	335	-	796	1125	400	798	514	530	-
	弁膜疾患	26	-	164	127	50	26	54	20	-
	心筋疾患	34	-	95	26	60	50	37	48	-
	大動脈疾患	3	-	255	23	10	76	13	16	-
検査等 (外来及び入院症例)	心超音波検査	1814	2683	3009	7316	3263	1975	1699	3183	-
	心筋シンチ	55	253	263	0	296	172	329	-	-
	心臓 MDCT 検査	270	215	205	1097	252	330	210	-	-
	心臓カテーテル検査(インターベンション含む)	545	153	1593	2041	432	1001	628	773	-
	ペースメーカー植え込み(一時的、恒久)	11	21	36	106	22	52	34	61	-
	救急車受入数(循環器のみ)	451	222	849	510	180	501	375	240	-
	その他					RFCA: 40例				

※は平成 25 年実績

9 研修期間

- 1) プログラムにおける研修・勤務期間は原則4年間（48ヶ月間）
ただし、学会入会時期等を勘案し個別に対応することも可能である。

例：内科認定医取得に1年間 + 循環器専門医取得に3年間

注1 試験日前日をもって満6年（入会年度から数えて6年度目）の日本循環器学会
会員歴が必要

注2 6年のうち最低3年以上は学会指定の研修施設での研修が必要

- 2) 病院群のうち3病院以上をローテートする

10 プログラム参加の要件

- 1) 初期研修を修了していること
- 2) 内科認定医、又は外科認定医、又は小児科認定医を取得する意思があること
- 3) 本プログラムに賛同すること

11 処遇

- 1) 身分
- 2) 給与
- 3) 健康保険等の福利厚生制度
- 4) 医師賠償責任保険
- 5) 休日等
- 6) 宿舎
- 7) 学会費用

原則として、研修する病院の規定に従う。

12 プログラム修了後の進路

- 1) 病院群への就職
欠員があれば優先的に常勤医師として就職可能
- 2) 病院群以外の病院への就職
病院・医師のネットワークにて常勤医師として斡旋可能
- 3) 病院が関連する大学医局への入局が可能

13 プログラム運営委員（◎：プログラムリーダー）

◎富士市立中央病院 診療参事兼循環器内科部長 三川秀文（1977年東京慈恵会医科大学卒）

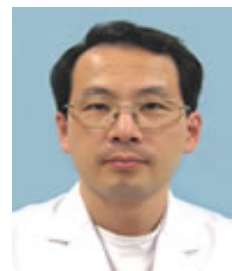
私の勤務する病院は人口約26万人の富士市で唯一の基幹病院です。この地域のあらゆる救急疾患に対応できるように365日当直を配して診療にあたっています。緊急心臓カテーテル検査はオンコール体制の医師とともに行き去年は110例行っています。

開業医の先生達とは年3回の勉強会を開催し、高血圧、心不全、虚血性心疾患、不整脈等について症例検討や学術講演会を行いお互いの診療技術の向上に努めています。そのため病診連携もスムーズに行われています。

病棟から望む、夕焼けに染まる紅色の富士山に癒されて勤務しています。

国際医療福祉大学熱海病院 循環器内科教授 重政朝彦（1989年 横浜市立大学医学部卒）

横浜市立大学循環器・腎臓内科学教室から派遣された5名体制で、当院の循環器内科の業務に携わっております。総合病院ですので、循環器疾患だけでなくさまざまな疾患を経験することができます。心臓カテーテル検査をはじめとした循環器系検査にはスタッフのひとりとして担当していただくことが可能です。また、当科では後期研修の先生方にも積極的に学会発表や論文発表をしてもらっています。後期研修修了後は横浜市立大学循環器内科への入局や大学院進学の可能性もあります。



国立病院機構 静岡医療センター 臨床研究部長 田邊 潤（1997年 日本医科大学医学部卒）

もう気づいていると思いますが、世の中には2種類の医師がいます。医師を単なる仕事と考える者と、医師であることが自分の生き方である者と。医師を単なる仕事ではなく、自分の生き方だ、そんな君にとって循環器科医は最良の選択の一つです。では、なぜ静岡県東部地域で研修するのか。それは静岡県の医師不足は全国47都道府県のうちワースト5に入るほど深刻だからです。医師が少ないということは、たくさんの経験を積めるということです。働き始めたその日から自分が地域の人々の役に立っているという実感が得られるということです。必要なのは素直な心、そしてどっぷり浸かること、それだけです。一緒に働くのを楽しみにしています。

静岡県立静岡がんセンター 循環器内科部長 飯田 圭（1992年 自治医科大学卒）

当院はがん治療専門施設であり、循環器内科医としては、やや特殊な診療になりますが、日本人の最大の死因であるがんの治療に関わるチームの一員として、がんに合併した循環器疾患を管理、治療することによりがんの治療をスムーズに進められるよう、またキャンサーサバイバーの方々が循環器疾患で生命を落とすことのないように心がけて診療しております。Evidenceの少ない分野の診療ですので、患者様にとって、できるだけ少ない侵襲で最大の効果が得られるよう、細かく検討を重ねて診療にあたっております。我々の診療内容に少しでもご興味を持っていただけたらたいへんうれしいです。ご連絡お待ちしております。

岡村記念病院 院長 坂本泰三（1979年 岐阜大学医学部卒）

循環器科、心臓血管外科、心臓リハビリテーション科、麻酔科を標榜している循環器専門病院です。循環器科は冠動脈インターベンションや不整脈アブレーション治療を得意とし、それを中心に医療を行っております。心臓血管外科は、冠動脈-大動脈バイパス術後、弁形成、大血管手術を含む開心術を年間約150例行っています。後期研修は循環器専門医を目指すこととなりますので、少々疾患が限られて来ますが、その分野の症例は数多くありますので、短期間で多くの症例を経験できます。すべての期間当院で研修することは出来ませんが、可能な限り皆さんの希望する研修プログラムに沿うように考えたいと思います。短期間の見学はいつでも受け入れ可能です。

富士宮市立病院 循環器科科長 若原伸行（1994年浜松医科大学卒）

このユニークなプログラムの最大の特徴は、後期研修において循環器専門医を取得する過程で、1施設のみで研修を終えるのではなく、複数の施設で研修ができることです。

複数の施設で研修ができる長所としては、①いろいろな診断や治療が経験できること、②症例の偏りがなくなること、③将来の選択枝が広がることです。

ガイドラインが存在する疾患でさえも、その診断や治療の仕方は施設ごとにより異なっており、いろいろな考え方を経験することで循環器疾患への理解が深まると考えます。複数の施設で研修することにより、施設ごとの症例の偏りも減少し、幅広い疾患を経験することができます。また、研修病院群の施設には、それぞれ異なった大学の医局出身の先生がいますので、後期研修終了後の選択枝も広がります。

沼津市立病院 循環器内科部長 兼 救命救急部長 伊藤浩嗣

当院は500床の救命救急センター併設型総合病院です。

当院循環器内科医師は、循環器専門研修のみならず、救命救急センターでの多様な2次・3次救急患者の診療にも従事する必要があり、かなり多忙な勤務となります。

当院での研修は循環器疾患のみならず救急医療を勉強したい先生方にお役に立てると考えております。